

別記様式第10号（第13条関係）

令和〇年〇〇月〇〇日

近江八幡市長 宛

申請された時期（第〇次）に応じた提出
期日までにご提出下さい。

申請者 住 所 近江八幡市××町××
名 称 △△商店
代表者名 ○○○○

近江八幡市体験型事業創出事業補助金実績報告書

補助対象事業を完了しましたので、近江八幡市体験型事業創出事業補助金交付要綱
第13条の規定により、下記のとおりその実績について必要書類を添えて報告しま
す。

記

1 補助金交付決定年月日 令和〇年〇〇月〇〇日近八商指令第〇〇号

2 補助金交付決定額 金 697,000 円

3 事業結果及び決算 別紙のとおり

4 その他添付資料

- (1) 事業に要した経費の領収書の写し（科目ごとに整理すること。）
- (2) 工事箇所の工事完了後の写真（工事を行った場合のみ）
- (3) ホームページ及びソーシャルネットワーキングのアカウントを通じて発信し
たことが分かる事業広告の成果物

(別紙1)

1 事業結果

事業名	自分で淹れたコーヒーを片手に沖島時間を楽しむ
事業結果の概要 (事業内容)	・店舗の改装工事を8月から行い、9月末に終了。 <u>周知広告について</u> ・YouTubeにて、令和5年8月のリフォームの様子からプレオープンに至るまで計5回配信。 平均再生回数：500回 登録者数：100人（開始前）から300人（現在）に増加 ・SNSフォロワー企画で本オープン以降の割引チケットを発行。 フォロワー数：750人（開始前）から1,500人（現在）に増加 ・WEBメディア系の取材1件（10月発信） ・市内10か所にフライヤーを設置させていただいた。 <u>プレオープンについて</u> ・10月13日（火）～10月23日（月）の期間にプレオープンを開催。 ・計8回の営業（毎週金土日月）で延べ80名の集客の内、体験型プランを40名に体験していただいた。 「TRIPCOFFEE」1,800円×30名 「PICNICBOX」2,200円×10名 ・地元の方をご招待したことで、地域内での認知度を上げることができ、親交も深まった。 <u>実施中に行った改善点について</u> ・当初は電話でのみ予約を受け付けていたが、インターネット予約システムを導入し、レスポンスのストレスを解消した。 ・また、SNSとも連動させる事で、投稿を通じて興味を持っていただいた方がスムーズに予約できるようにした。
実施期間	令和6年〇〇月〇〇日 ～ 令和〇年〇〇月〇〇日

補助対象期間中に実施した内容や成果（結果）、改良点などを記入してください。

申請された時期（第〇次）に応じた補助対象期間内の日付を記入してください。

補助対象経費	1, 845, 840円	補助金額	697, 000円
申請時の金額ではなく実績額を記入してください。 補助対象事業終了後の展開について 実施期間中に感じた課題等を踏まえ、体験型事業をより魅力的にするために考えられる今後の取組みを記入してください。	・SNSに比べ、YouTubeチャンネルの登録者数が伸び悩んだため、今後は体験型事業の様子だけではなく、仕込みの様子を公開するなどし、再生回数および登録者数の増加を目指す。 ・体験型事業の利用だけでなく、実際に近江八幡市や沖島に来島する人口を増やす目的も加味し、YouTubeを通じて沖島の魅力発信ライブを月1回のペースで行う。 ・男性客の反応が予想を上回ったため、男性向けのメニューをより充実させるほか、今後は一人客のニーズにも合うメニューも考案していきたい。 ・市外からも来てもらえるよう、コーヒーショップとの連携企画への参加や、市内のマルシェイベントへの出店により、知名度の向上に努めたい。		